保存用

凍結時に備え、
よくお読みになって
お役立てください。

凍結トラブルを防ぎ、ガス機器を
快適に使いましょう。

ガス機器（給湯器・風呂がま）と配管の

凍結にご用心！

凍結トラブルの多くは、特に給水元栓からの凍結が原因です。保温材等で保護してください。

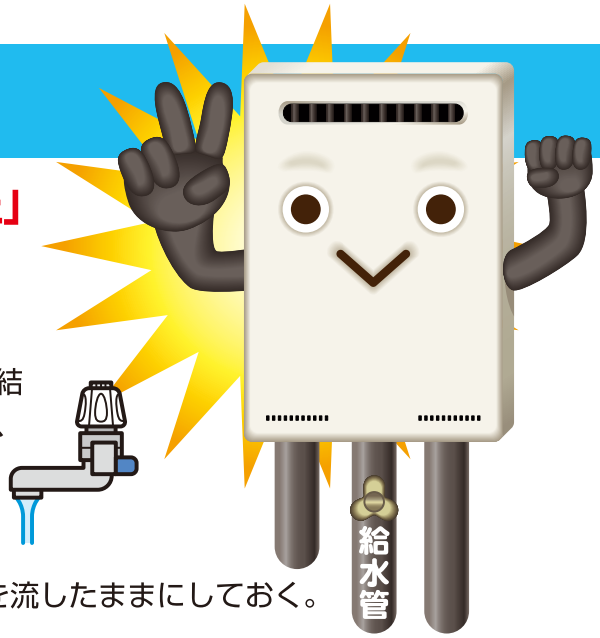
保温材の
巻かれていない
給水元栓は凍りやすい
ので要注意！！

屋外給湯器は、
凍結防止ヒーターが
組み込まれています。
必ず電源プラグを
差しておいて
ください。

暮らしに、あったかい ひらめき。
北陸ガス

新潟支社　TEL. 025-229-7007
長岡支社　TEL. 0258-39-9003
三条事務所　TEL. 0256-32-9001

凍結を予防するために！



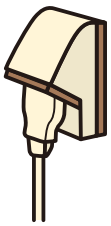
凍結トラブルの予防は、**「ガス給湯器本体の凍結防止」**と**「給水管の凍結防止」**が基本です。

❶通水による方法

冷え込みが厳しいときは、給水および給湯配管や給水元栓の凍結を防ぐため以下の通水の処置をしてください。機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防ができます。

①リモコンの運転スイッチを「切」にする。
②ガス給湯器のガス栓を閉める。
③給湯栓を開いて、少量の水（1分間に約400cc…太さ約4㎜）を流したままにしておく。

❷凍結予防ヒーターによる方法



給湯器内の凍結予防ヒーターが、凍結の危険のある気温近くになると自動的に作動します。
電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。
（運転スイッチの「入・切」に関係なく凍結予防します。）

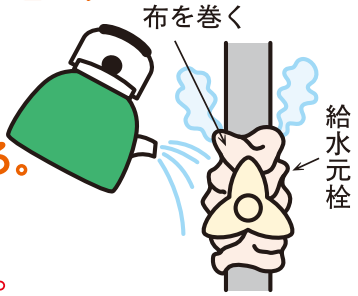
❸水抜きによる方法

凍結予防をしても、厳冬期には完全に凍結を防ぐことができない場合があります。
大寒波が到来した夜などは、ガス給湯器や給湯配管が凍結しないように水抜き作業を行ってください。
※水抜き方法は、ガス機器の取扱説明書をご覧ください。

凍結してしまったら！

気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめしますが、すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください。

❶ 布を給水元栓の周りに巻く（エコジョーズの場合、ドレン管も巻く）。
❷ 50℃前後のお湯を配管に巻いた布にゆっくりかける。
❸ 給水元栓が回るようになったら、家の給湯栓を閉める。
❹ 布を外し、配管のまわりについた水を乾いた布でふき取る。



ご注意 火を使って温めたり、熱湯を直接配管にかけたりすると配管が損傷して漏水の原因となりますので、絶対にしないでください。